

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

| | |
|-----------------------|--|
| 研究の拒否 | 患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。 |
| 研究課題名 | バンコマイシン耐性腸球菌アウトブレイク後の入院時スクリーニング検査の有効性の検討 |
| 研究機関名 | 静岡県立総合病院 |
| 研究責任者 | 臨床検査科・感染対策部感染対策室 古谷 賢人 |
| 研究期間 | 所属機関長の許可日（2024年3月）～2025年3月31日 |
| 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日 | 実施許可日（2024年3月18日） |
| 対象者 | 2023年01月01日から12月31日までに当院へ入院され、バンコマイシン耐性腸球菌のスクリーニング検査をうけた患者さん。 |
| 当該研究の意義・目的 | 薬剤耐性菌は世界的に問題となっており、バンコマイシン耐性腸球菌（以下VRE）もそのひとつです。当院でも2022年にVREのアウトブレイクを経験しました。VREに関して入院時にスクリーニング検査を実施するべきかは意見が分かれており、当院では一定の条件を満たした患者さんに対して入院時スクリーニング検査を実施しました。当院での入院時スクリーニングを振り返ることで、どのような症例に対して優先的にVREのスクリーニング検査を実施するかを明確にすることを目的としています。 |
| 方法および研究で利用する試料・情報について | 対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査し患者さんごとに識別番号を割付け、新たに仮名加工情報を作成いたします。 ① VREの検出歴 ② 患者背景（年齢、性別） ③ 過去3か月以内の入院歴や施設入所歴 ④ 医療介入（尿バルーン挿入、下痢、排泄介助）の有無 |
| 個人情報の開示に係る手続き | 個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。 |
| 資料の閲覧について | あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。 |
| 問合せ先 | ◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 臨床検査科・感染対策室 古谷 賢人 代表 054-247-6111 |